

お客さま本位の業務運営 (フィデューシャリー・デューティー)の 実践に向けた取組状況について

当金庫では、経営理念である「共存同栄」に基づき、お客さまの資産形成および資産運用に関する「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)取組方針」を制定しました。

本方針の取組状況をお客さまにわかりやすくご確認いただけるよう、具体的な指標等を定期的に公表するとともに、お客さまの利益を最優先に考え、取組状況や成果等を検証し、必要に応じて見直しを行ってまいります。

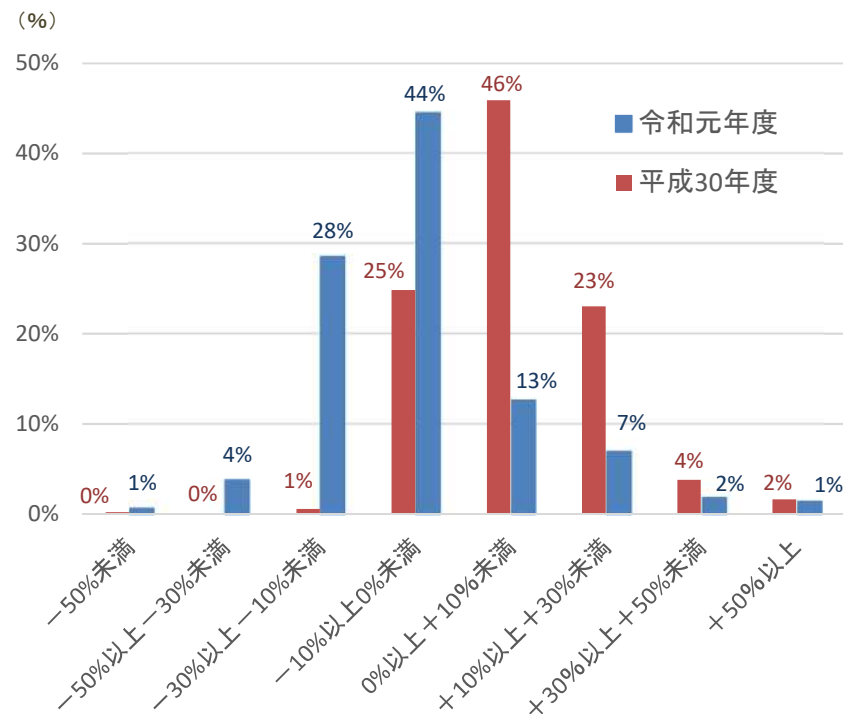


三島信用金庫

令和2年3月31日現在

投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)

【運用損益の区分】	令和元年度		平成30年度	
	顧客数	割合	顧客数	割合
+50%以上	38	1.4%	45	1.6%
+30%以上+50%未満	50	1.8%	105	3.8%
+10%以上+30%未満	191	6.9%	642	23.0%
0%以上+10%未満	348	12.6%	1,279	45.9%
-10%以上0%未満	1,230	44.5%	692	24.8%
-30%以上-10%未満	788	28.5%	15	0.5%
-50%以上-30%未満	104	3.8%	2	0.1%
-50%未満	17	0.6%	6	0.0%
合計	2,766	100%	2,786	100%



【運用損益別顧客比率】

基準日時点で投資信託を保有しているお客さまの購入日以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。

この指標により、お客さまの運用損益がどのように分布しているかを見ることができます。

投資信託残高上位20銘柄の リスク・リターン/コスト・リターン(共通KPI)

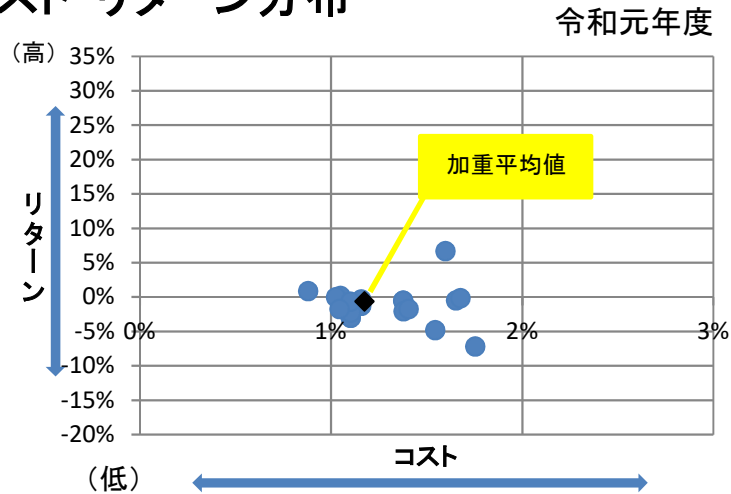
預り残高上位20銘柄についてコストやリスクに対するリターンを表示しています。

今後もお客さまの資産形成ニーズにお応えするため、長期・積立・分散投資に適した商品の導入やラインアップの見直しに取り組みます。

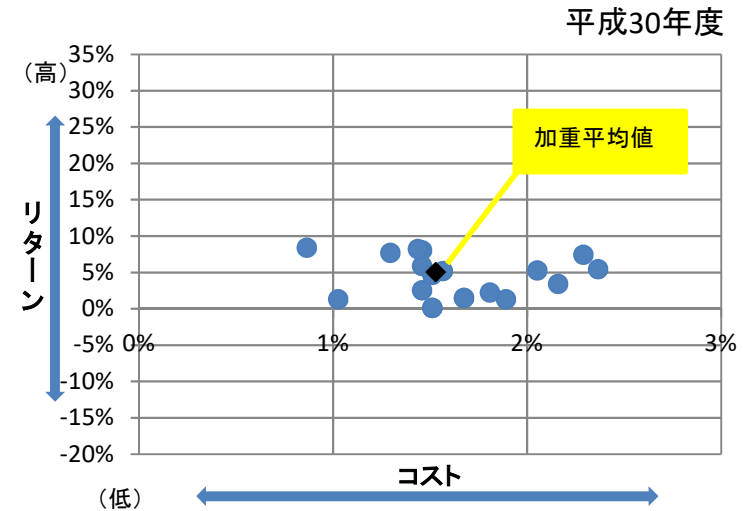
順位	銘柄名	令和元年度			平成30年度		
		コスト	リスク	リターン	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.05%	13.16%	-0.25%	1.46%	8.67%	8.08%
2位	しんきん世界アロケーションファンド	1.16%	2.77%	-0.33%	1.46%	2.61%	2.57%
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.05%	8.71%	0.16%	1.46%	7.54%	5.89%
4位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.06%	0.87%	0.86%	15.68%	8.42%
5位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.10%	7.44%	-3.03%	1.51%	7.74%	0.15%
6位	三井住友・グローバル・リート・オープン	1.76%	17.85%	-7.21%	2.37%	12.35%	5.47%
7位	女性活躍応援ファンド	1.60%	20.49%	6.68%	-	-	-
8位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.38%	5.19%	-0.56%	1.67%	6.34%	1.49%
9位	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.10%	7.47%	-3.03%	1.51%	7.75%	0.15%
10位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.16%	10.00%	-1.28%	1.57%	8.12%	5.21%
11位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.03%	13.11%	-0.03%	1.44%	8.69%	8.23%
12位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.38%	5.18%	-0.52%	1.67%	6.34%	1.52%
13位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	1.10%	18.09%	-2.26%	1.51%	16.52%	4.69%
14位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.10%	16.35%	-0.67%	1.30%	14.56%	7.70%
15位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	1.38%	9.56%	-2.09%	1.89%	8.89%	1.33%
16位	ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	1.66%	7.23%	-0.50%	2.16%	8.07%	3.46%
17位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	1.55%	19.45%	-4.84%	2.05%	16.29%	5.29%
18位	ドルマネーファンド	1.05%	7.69%	-1.76%	1.03%	8.82%	1.31%
19位	ノムラ・ジャパン・オープン	1.68%	17.00%	-0.19%	2.29%	15.52%	7.47%
20位	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	1.41%	7.28%	-1.75%	1.81%	7.64%	2.24%

コスト・リターン分布／リスク・リターン分布

コスト・リターン分布

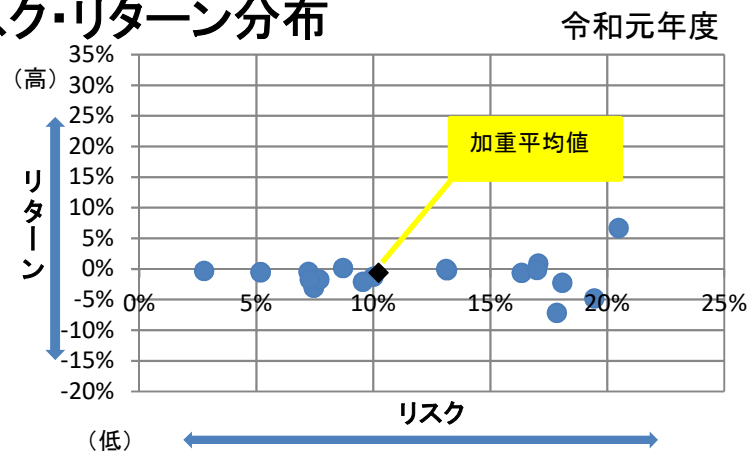


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.18%	-0.64%

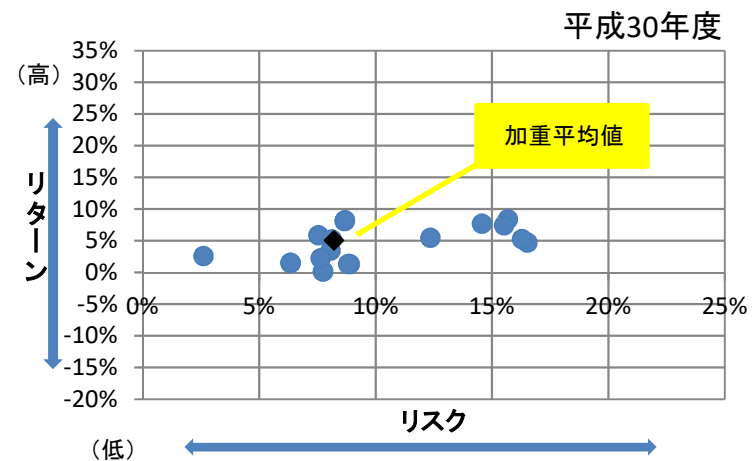


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.53%	5.09%

リスク・リターン分布



残高加重平均値	リスク	リターン
	10.22%	-0.64%

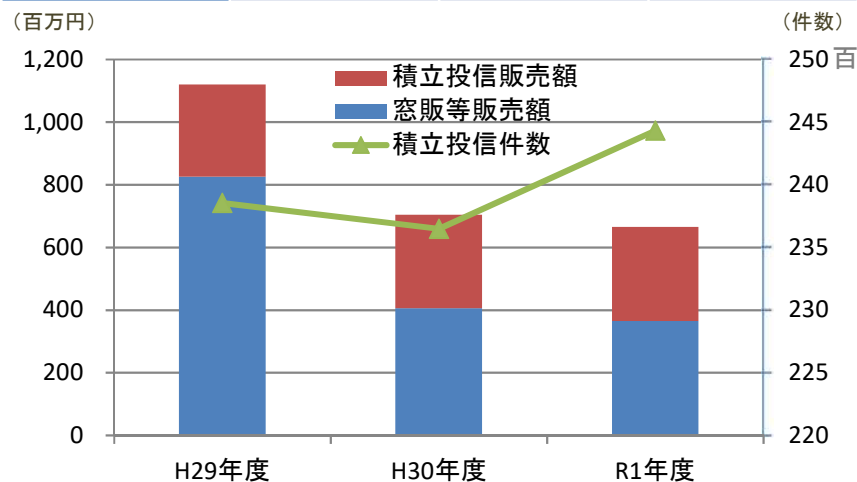


残高加重平均値	リスク	リターン
	8.22%	5.09%

投資信託の販売額

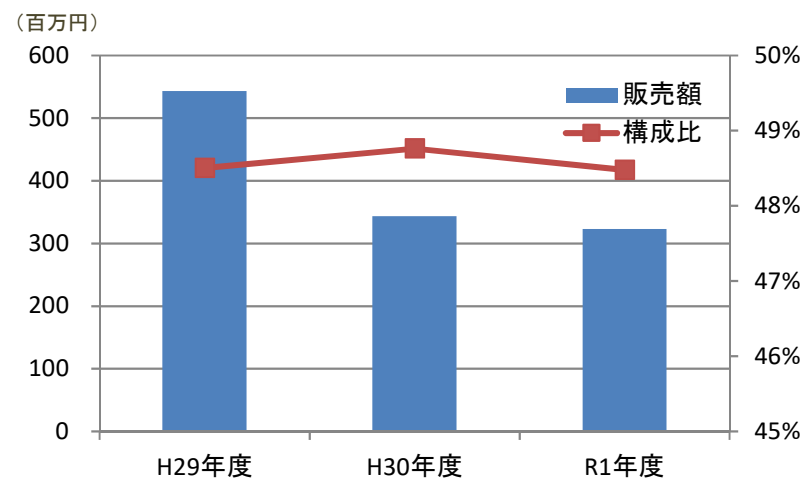
投信販売額と積立投信の販売件数

	H29年度	H30年度	R1年度
販売額	1,119百万円	704百万円	665百万円
うち積立投信	294百万円	298百万円	300百万円
うち積立件数	23,854件	23,649件	24,432件



毎月分配型の販売額・構成比

	H29年度	H30年度	R1年度
販売額	543百万円	343百万円	322百万円
構成比	48.50%	48.76%	48.48%



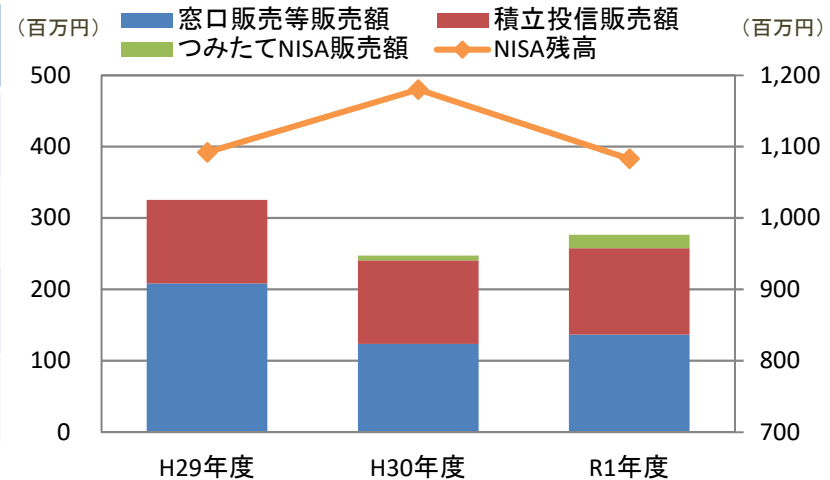
三島信用金庫では、資産形成をご希望されるお客さまのニーズやご状況に合った商品提案をしています。

資産形成に効果的である長期・積立・分散投資の提案をしており、積立投信の販売件数が増加しています。

またお客さまの利便性向上のためインターネット販売もご案内しており、インターネットを介しての販売額も少しずつ増加しています。

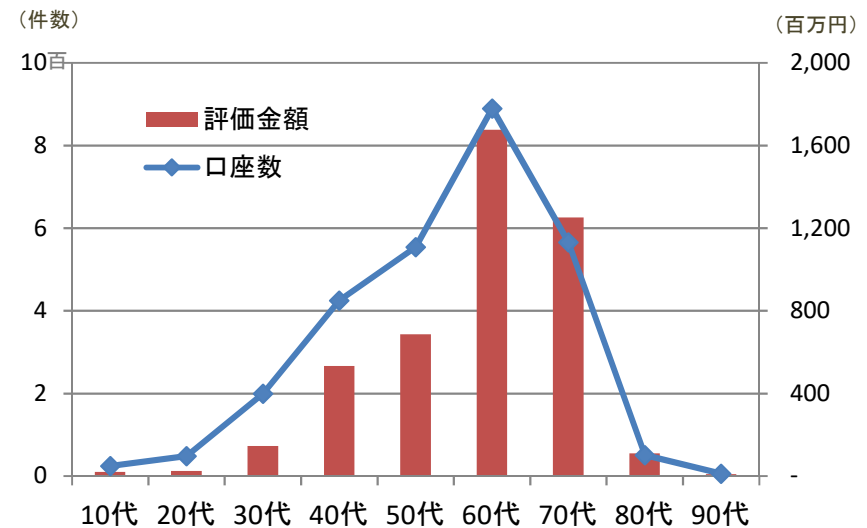
NISAの取り扱い状況

	H29年度	H30年度	R1年度
投信販売額	325百万円	247百万円	276百万円
うち積立投信	117百万円	116百万円	120百万円
うちつみたてNISA		6百万円	18百万円
NISA残高	1,092百万円	1,180百万円	1,083百万円



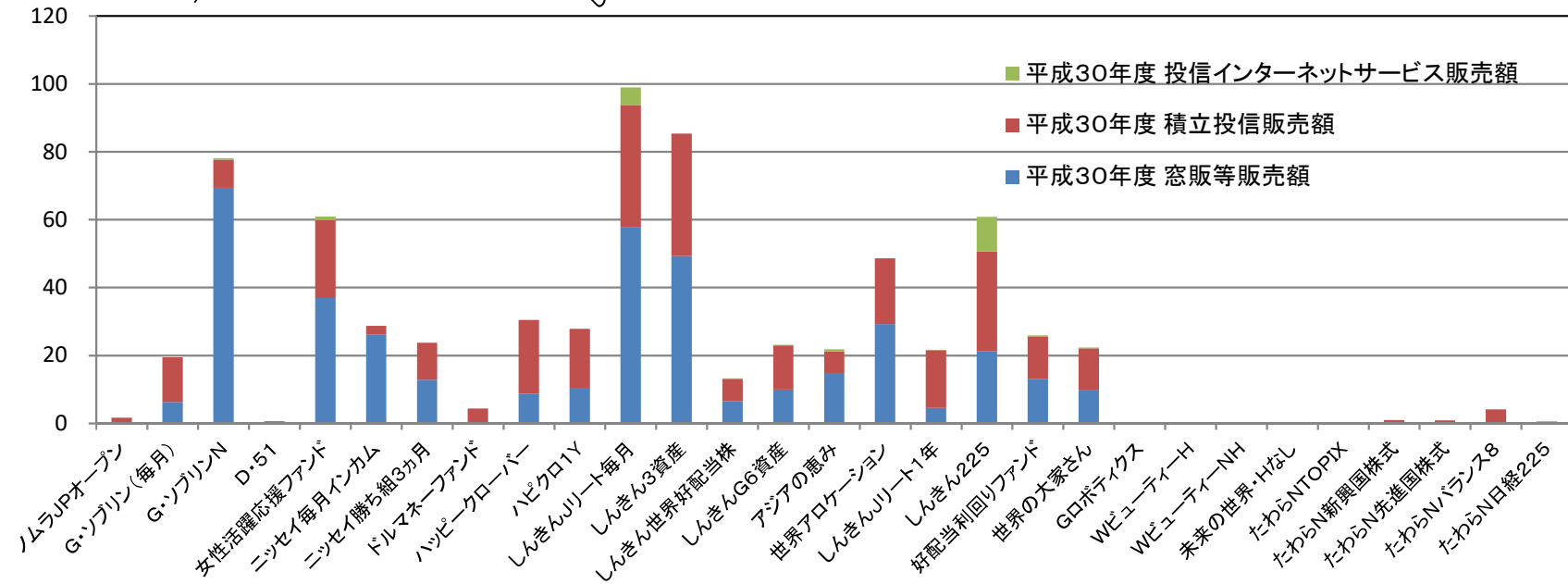
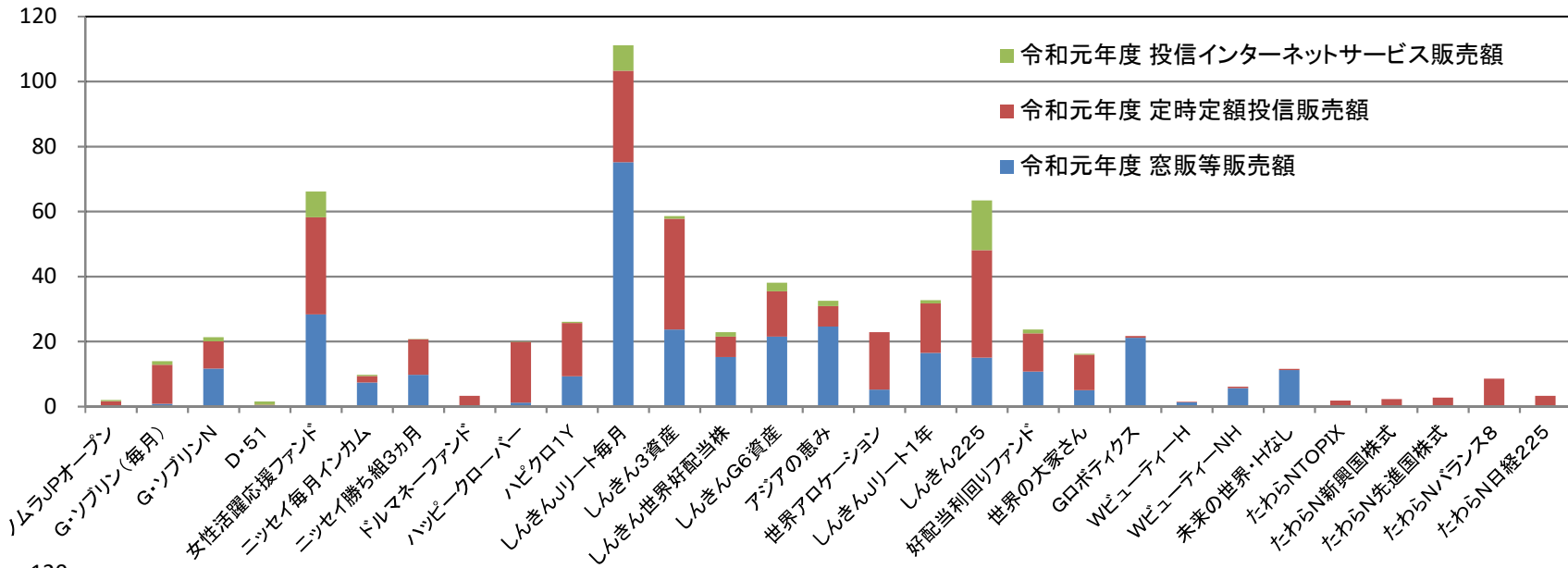
年齢層別の口座数・評価金額

年齢層	口座数	評価金額(百万円)
10代	25	20
20代	49	25
30代	200	145
40代	425	532
50代	554	686
60代	890	1,675
70代	566	1,251
80代	51	109
90代	6	9



ファンド別・チャンネル別販売状況

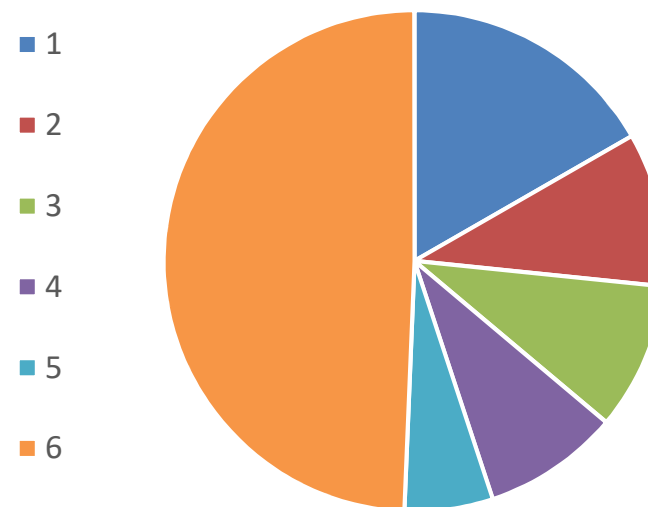
(百万円)



投資信託：販売額上位5商品

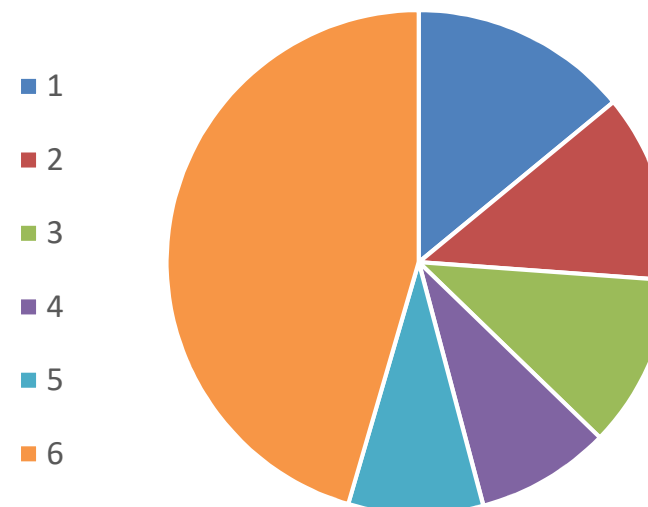
令和元年度

	ファンド名	運用会社	比率
1	しんきんJリートオープン (毎月決算型)	しんきんアセット	16.7%
2	女性活躍応援ファンド	大和証券	9.9%
3	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセット	9.5%
4	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	しんきんアセット	8.8%
5	しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型)	しんきんアセット	5.7%
6	その他24商品		49.4%



平成30年度

	ファンド名	運用会社	比率
1	しんきんJリートオープン (毎月決算型)	しんきんアセット	14.0%
2	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)	しんきんアセット	12.1%
3	グローバル・ソブリン・オープン (資産成長型)	三菱UFJ国際	11.1%
4	女性活躍応援ファンド	大和証券	8.6%
5	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセット	8.6%
6	その他20商品		45.5%



FP資格保有者・セミナー開催

FP資格保有者

情報の提供、商品の提案に際し、より適切なコンサルティングサービスの提供を目指し、高度な知識や資格を備えた「人財」を育成します。

FP(ファイナンシャルプランナー)・・・お客様のライフスタイルや経済環境を踏まえ、家族状況、収入と支出の内容、資産状況などをもとに、将来のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行います。

	FP1級	FP2級	FP3級
令和元年度	10人	235人	339人

顧客向け無料セミナー

タイトル	資産運用セミナー ～ゆとりある未来のために～
日時	令和2年2月20日(木) 15:15～16:45 (90分)
内容	①日本を取り巻く経済動向について ②貯蓄から投資へ、資産運用の重要性について

令和元年度 アフターフォローの実施状況

令和元年8月末時価を基準に、70才以上のお客さま及び評価損を抱えたお客さまを重点顧客として実施いたしました

8月末時点の顧客数	実施顧客数	70才以上顧客数	8月末時点評価損顧客数
2,813名	1,037名	500名	1,163名

70才以上のお客さま取引状況

- 買付39件39百万円
- 定時定額23件
(うちインターネット経由は3件)
- 80才以上取引1件

現状の評価・課題

- 70才以上の先に対するアフターフォローは全先実施できました
- 実施先数1,037先は、全保有先に対する比率36.8%となりました
- 令和2年に入り新型コロナウイルス流行に伴い市場環境は急変しており、相場変動時のタイムリーな情報提供の難しさが、今後の課題として浮き彫りとなりました

令和2年度のアフターフォローについて

1. 面談内容(当面の運用方針や質疑)の当庫データベースへの記録を徹底
 - 新型肺炎流行に伴い金融市場の変動性が大きく増しており、担当部主導で適時適切な情報提供に注力していきます
 - 担当部職員による直接のアフターフォローを展開し、質の高いフォロー活動を行います
2. 還元資料とデータツールの活用
 - 市場環境の急変に対応するため、月次の顧客運用状況一覧表(還元資料)の推移モニタリングを徹底します
 - データツールを併用したアフターフォローにより、時宜に応じた情報提供を行います